静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

Newspaper in Education

大自在

暮らしに密接に関係するだけに「水」にまつわる慣用句やことわざは多い。「水も漏らさぬ」は警戒や防御が厳重な様子を指す。文字通りであるべき対応ができていないと分かり、「寝耳に水」の国民がまたも不信の念を抱く事態となった▼東京電力福島第1原発の事故現場で今月、放射性物質に汚染された水が地下貯水槽から相次いで漏れ出した。漏れた量に関する東電の説明には相変わらず「我田引水」の楽観が交じる。原因についても要領を得ない▼7カ所ある貯水槽の汚染水は全て地上タンクに移すことになった。移送作業でもポンプと配管の接続部から汚染水が漏れた。急きょ増設することになったタンクについては、長期間の保管に耐えるのか疑問視する声がある▼汚染水増加の主因とされる原子炉建屋への地下水の流入。政府はようやく先週末、専門家を集めて本格的な対策の検討を始めた。後手に回ってばかりの対応。行き当たりばったりにも思える。これが「収束宣言」から1年4カ月の現状である▼当事者意識の低さを感じるのは、東電や政府を監視する立場の国会も同様だ。国会事故調査委員会が設置を提言した原子力問題調査特別委員会。やはり先週末から、ようやく事実上の審議が始まった。だが、審議は緊張感に乏しい▼「覆水盆に返らず」といえど、国民は安全神話が招いた代償を「水に流す」ことはない。綱渡りの冷温停止状態が続いていることを直視し、廃炉へ確かな道のりを描く必要がある。関係者にはあらためて「背水の陣」を敷く覚悟を求めたい。

2013.4.22

２０１３年４月２２日朝刊　１面

① この中に出てくる「水」にまつわる慣用句やことわざを書き出し、読み方を書いて、意味を調べましょう。

年　　組　　名前

（小学校高学年・中学生　国語）